



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 三和油化工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4125 URL <https://sanwayuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 柳 均
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部長 (氏名) 熊崎 聡 (TEL) 0566-35-3021
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,091	△8.3	414	△24.4	423	△23.8	266	△21.2
2023年3月期第1四半期	4,461	28.2	547	26.9	555	26.4	337	19.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 379百万円(26.3%) 2023年3月期第1四半期 300百万円(5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	61.64	—
2023年3月期第1四半期	78.26	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,635	11,258	54.4
2023年3月期	20,842	11,033	52.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 11,218百万円 2023年3月期 10,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の中間配当及び期末配当予想については、現時点では未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,900	△1.2	990	△0.4	1,000	△1.5	730	12.0	169.06
通期	18,000	3.6	1,950	3.4	1,970	1.7	1,440	8.7	333.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	4,318,000株	2023年3月期	4,318,000株
2024年3月期1Q	39株	2023年3月期	一株
2024年3月期1Q	4,317,999株	2023年3月期1Q	4,318,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現状入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は薄れた一方、依然として緊張状態にある米中関係及びウクライナ・ロシア情勢の長期化に伴う地政学リスクに加え、世界的な金融引き締め等を背景とした景気後退も懸念されるなど、先行き不透明な状況が継続しております。

国内経済においては、経済活動の正常化が進むとともに賃上げが実施されたこと等により、企業の設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、全体としては緩やかに景気回復していくことが期待される状況となりました。しかしながら、円安の継続により原材料及びエネルギーコストは高水準で推移し、サプライチェーンの在庫調整などにより、半導体や化学業界の一部では稼働回復に遅れが見られ、稼働低迷の影響は年明けまで長期化するところもあるとの見方もあるなど、今後の動向には十分に留意する必要があります。

このような状況下において、当社グループは環境を軸とした事業活動を展開し、サステナブルな社会の実現に貢献することを通じて、社会から必要とされる環境リーディングカンパニーとなることを目指し、2030年度を見据えた長期ビジョン「グランドビジョン2030」を策定いたしました。また、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画では、確実性の高い安定的な事業成長・業績拡大を進めるとともに、2030年度には事業規模を倍増させるという目標を実現するため、次期大型設備投資の準備を進める期間と位置付けております。当第1四半期連結累計期間においては、今後の成長ドライバーとなる産業廃棄物の有効利用やエレクトロニクス業界向けの製品供給等に注力いたしましたが、半導体や化学業界の一部をはじめとする顧客の稼働回復遅れや在庫の消費待ち等、外部環境の影響を大きく受ける状況となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高4,091百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益414百万円（前年同期比24.4%減）、経常利益423百万円（前年同期比23.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益266百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

当社グループは、環境関連事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載を省略しておりますが、主な事業は5つに区分しており、事業種類別の業績は次のとおりです。

①リユース

当事業は、再資源化に対する社会的ニーズが年々高まる中、サーキュラーエコノミーの形成に貢献していくことを目指し、有機溶剤、リン酸及び希少金属等のマテリアルリサイクル推進とその付加価値向上に注力しております。資源価格及び各種コスト上昇分の価格転嫁を進めてきたことから、再生製品の販売価格は上昇した一方、半導体業界の一部で顧客の工場稼働が低迷していることから、取扱数量は減少しました。その結果、売上高は728百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

②リサイクル

当事業は、これまでに東西工場拠点において投資をしてきたリサイクル施設の稼働率を向上させるため、新規顧客開拓による取扱数量の増加に注力しております。当社茨城事業所（茨城県稲敷市）及び連結子会社であるサンワ南海リサイクル株式会社（和歌山県和歌山市）において、廃油・廃酸・廃アルカリ等の液体廃棄物と、汚泥・廃プラスチック類等の固形廃棄物のいずれも取扱数量が増加しました。その結果、売上高は1,388百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

③化学品

当事業は、次世代自動車の台頭やIT技術・情報通信技術の高度化に伴い、半導体・電池等のマーケット拡大が期待される中、そのようなエレクトロニクス業界向けの製品供給に注力しております。電池向けの製品需要は堅調に伸長した一方、原材料の主要品目が大きく価格低下していることに加え、半導体関連の顧客においては前年の中盤以降、生産調整に伴う需要低下により数量が減少しております。その結果、売上高は1,140百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

④自動車

当事業は、次世代自動車などの新しい可能性が広がる一方、従来からの部品加工分野は需要が縮小していくことが見込まれます。さらに、業界の不安定な稼働状況から徐々に回復基調に移行したものの、積み上がった在庫の消費局面でもあったことから、金属加工油や潤滑油等の販売数量は伸び悩みました。しかしながら、売価への価格転嫁が進んだことに加え、顧客工場の生産ライン改廃に伴う設備の撤去・移設や清掃作業などの新たな顧客ニーズへの対応に努めてまいりました。その結果、売上高は648百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

⑤PCB

当事業は、PCB特別措置法で定められた2027年の処理期限に向けて徐々に市場が縮小していくことが見込まれる中、適切に処理を進めるためのソリューション提供を通じて顧客の信頼を獲得し、他の事業での取引へ展開していく活動に注力しております。市場は縮小傾向にあります。顧客ニーズに的確に対応できたことから、概ね堅調に推移しました。その結果、売上高は185百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は20,635百万円と前連結会計年度末に比べ207百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が158百万円増加したものの、現金及び預金が228百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は9,376百万円と前連結会計年度末に比べ431百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が384百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は11,258百万円と前連結会計年度末に比べ、224百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が配当支払により155百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により266百万円、その他有価証券評価差額金が110百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回発表（2023年5月12日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,977,533	2,749,120
受取手形及び売掛金	2,833,045	2,913,664
電子記録債権	467,585	489,554
商品及び製品	329,774	313,063
仕掛品	142,963	160,580
原材料及び貯蔵品	500,695	438,685
その他	255,030	239,285
流動資産合計	7,506,629	7,303,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,237,358	4,184,937
機械装置及び運搬具（純額）	2,475,686	2,390,779
土地	4,846,542	4,851,192
リース資産（純額）	14,810	8,271
建設仮勘定	112,769	132,397
その他（純額）	307,167	297,888
有形固定資産合計	11,994,334	11,865,466
無形固定資産	50,275	49,296
投資その他の資産		
投資有価証券	647,300	805,765
退職給付に係る資産	242,483	243,725
繰延税金資産	34,737	34,813
その他	366,733	332,058
投資その他の資産合計	1,291,255	1,416,362
固定資産合計	13,335,865	13,331,126
資産合計	20,842,495	20,635,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,200,220	1,177,028
電子記録債務	192,513	197,625
1年内返済予定の長期借入金	1,764,392	1,669,912
リース債務	4,869	5,145
未払法人税等	259,817	138,203
賞与引当金	252,337	124,750
役員賞与引当金	45,600	12,525
営業外電子記録債務	193,904	235,200
その他	1,058,498	1,324,759
流動負債合計	4,972,152	4,885,150
固定負債		
長期借入金	4,606,534	4,221,901
リース債務	10,565	3,820
役員退職慰労引当金	198,071	198,071
繰延税金負債	21,184	67,789
固定負債合計	4,836,356	4,491,583
負債合計	9,808,509	9,376,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,588,320	1,588,320
資本剰余金	1,542,906	1,542,906
利益剰余金	7,603,716	7,714,424
自己株式	—	△150
株主資本合計	10,734,942	10,845,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,287	372,682
その他の包括利益累計額合計	262,287	372,682
非支配株主持分	36,756	40,164
純資産合計	11,033,985	11,258,346
負債純資産合計	20,842,495	20,635,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,461,567	4,091,410
売上原価	3,164,744	2,859,225
売上総利益	1,296,822	1,232,184
販売費及び一般管理費	749,474	818,121
営業利益	547,348	414,063
営業外収益		
受取利息	270	9
受取配当金	7,772	8,643
受取賃貸料	6,423	5,691
その他	1,190	1,326
営業外収益合計	15,656	15,669
営業外費用		
支払利息	6,614	6,129
その他	782	237
営業外費用合計	7,397	6,366
経常利益	555,608	423,366
特別利益		
固定資産売却益	6,082	—
特別利益合計	6,082	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	217
特別損失合計	0	217
税金等調整前四半期純利益	561,691	423,148
法人税等	223,757	153,584
四半期純利益	337,933	269,564
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3,408
親会社株主に帰属する四半期純利益	337,933	266,156

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	337,933	269,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,086	110,394
その他の包括利益合計	△37,086	110,394
四半期包括利益	300,846	379,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,846	376,551
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3,408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(セグメント情報等)

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、記載を省略しております。